２０１９年度（令和１年）

事業報告書

2020 年 5 月 11 日

公益財団法人
日本ユースリーダー協会
DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

２０１９年度事業計画

２０１９年度事業計画　（H31. 3. 20／H30 年度第 4 回理事会承認）

◇若者との合言葉は ･････････ **飛び出せ若者！！**
◇活動の Key Word は ･････････ **つ･な･ぐ**

★事業コンセプト：　2019年度は協会設立 50 周年を迎える。NEXT50 を見据えながら、事業は引き続きすべて公益事業のみとし、次の3つの目的で実施する。

1. リーダー育成事業

（1）国内学生向け海外研修
　①「Global Education Training（GET）」（日本→ASEANでの研修実施）
（2）海外研修（GET）参加学生向け年間リーダー育成プログラム
　①「Leaders Education Program（LEP）」（各種研修への参加）
（3）企業人向け国内研修
　①「異業種交流研修会」（中堅幹部社員向け）
　②「アジアの会(大阪)」（一般向け）

2. 国際交流事業

（1）アジアからの来日研修の受け入れ
　①「さくらサイエンスプラン」（アジア→日本での科学技術研修実施）
（2）ASEAN との国際交流ネットワーク
　①「AJAFA-21 との交流活動」（RLF・ECM・TVC への参加）

3. 社会啓発事業

（1）若者が挑戦できる社会づくりのための表彰制度
　①「若者力大賞」（社会貢献活動への表彰→まわりが支えあう社会へ）
（2）若者力大賞受賞者と学生や地方とをつなぐ
　①「若者力大賞受賞者講演会」（社会課題に対する学生層への意識啓発）
（3）広報活動
　①「広報誌 Youthleader」「ホームページ」による各種情報発信

２０１９年度活動実績

２０１９年度活動記録

月	日	2019年度活動記録
4	14(日)	「GET2019 春(タイ・バンコク)事後研修会」(日本青年館ホテル)
	24(水)	「2019 年度第 1 回理事会」(協会事務所)
	24(水)	「月次会計監査」(協会事務所)
5	13(月)	「2019 年度評議員会・第 2 回理事会」(日本青年館ホテル)
	13(月)	「設立 50 周年　記念の集い」(日本青年館ホテル)
	22(水)	「2019 年度(5 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
	23(木)	「第 39 回　AJAFA-21　TV 会議」(各国 JICA 中継)
	23(木)	「第 64 回　アジアの会」(大阪市・ハービス大阪)
6	3(月)	「第 31 回　異業種交流研修会」(JXTG ホールディングス)
	19(水)	「2019 年度(6 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
7	13(土)	「GET2019 夏(ベトナム・ハノイ)事前研修会」(日本青年館ホテル)
	24(水)	「2019 年度(7 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
8	1(木)	「第 11 回若者力大賞　第 1 次選考会議」(赤坂・クーポール)
	1(木)－8(木)	「GET2019 夏(ベトナム・ハノイ)現地研修」(8 日間)
	22(木)－29(木)	「GET2019 夏(インドネシア・ジャカルタ)現地研修」(8 日間)
	22(木)	「第 65 回　アジアの会」(大阪市・ハービス大阪)
	23(金)	「第 11 回若者力大賞　第 2 次選考会議」(協会事務所)
9	12(木)	「第 40 回　AJAFA-21　TV 会議」(各国 JICA 中継)
	16(月・祝)	「GET2019 夏(ベトナム・インドネシア)事後研修会」(TKP 新宿 CC)
	18(水)	「2019 年度(9 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)

２０１９年度活動実績

月	日	2019年度活動記録
10	4(金)－7(月)	「第 25 回　AJAFA-21 ﾘｰｼﾞｮﾅﾙ･ﾘｰﾀﾞｰｽﾞ･ﾌｫｰﾗﾑ」(インドネシア)
	8(火)	「第 15 回 JICA 理事長賞受賞　表彰式」(JICA 国際会議場)
	23(水)	「2019 年度(10 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
	25(金)－31(木)	「来日研修・さくらサイエンスプラン(インドネシア高校生)」(7 日間)
11	6(水)	「2019 年度第 3 回理事会」(芝パークホテル)
	11(月)	「第 8 回　会長サロン」(芝パークホテル)
	19(火)	「2019 年度(11 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
	21(木)	「第 66 回　アジアの会」(大阪市・ハービス大阪)
	25(月)－29(金)	「来日研修・さくらサイエンスプラン(中国高校教師団)」(5 日間)
12	9(月)	「内閣府　定期立入検査」(協会事務所)
	18(水)	「2019 年度(12 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
	19(木)	「第 41 回　AJAFA-21　TV 会議」(各国 JICA 中継)
1	16(木)	「2019 年度(1 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
	20(月)	「第 32 回　異業種交流研修会」(日本青年館ホテル)
2	14(金)	「2019 年度(2 月度)運営幹事会」「月次会計監査」(協会事務所)
	18(火)	「第 11 回若者力大賞表彰式(交流会中止)」(ハリウッドホール)
	20(木)	「第 67 回　アジアの会」(大阪市・ハービス大阪)
	21(木)－24(月)	「第 32 回　AJAFA-21　代表者会議」(タイ)　→　参加を見送り
3	1(日)	「GET2020 春(ベトナム・ハノイ)事前研修会」　→　中止
	12(木)	「2019 年度(3 月度)運営幹事会」「月次会計監査」　→　中止
	12(木)	「忘れない 3.11　Vol.9」　→　中止
	19(木)	「若者力大賞受賞者講演会(都立永山高校)」　→　中止
	19(木)	「2019 年度第 4 回理事会」　→　中止　(書類審議実施)
	26(木)－4/2(木)	「GET2020 春(ベトナム・ハノイ)現地研修」　→　中止
	31(火)	「2019 年度(3 月度)臨時運営幹事会」(メール会議実施)

２０１９年度　事業報告

Ⅰ．リーダー育成事業

【１】国内学生向け海外研修

①「ＧＥＴ（Global Education Training)」（短期海外研修）の実施

◆世界のグローバル化が進む中で、日本の若者の内向き志向が心配されている。そこで、閉じこもりがちな日本の若者を、まずは外へ飛び出させようという目的で、GET(Global Education Training)プログラムを 2012 年度から実施。
AJAFA-21(ASEAN 諸国の友好団体)の協力を得て、今年度も、夏 2 回・春 1 回の実施計画を組んで取り組み、夏は計画通り実施できたものの、春(2020)については、世界を脅威に巻き込んだ新型ウィルスの影響で、催行を中止した。

(ｉ)GET2019夏(ベトナムコース)実施報告

◇実施日:2019 年 8 月1日(木)～8 日(木)　(8 日間)
　事前研修会:2019 年 7 月 13 日(土)、事後研修会:2019 年 9 月 16 日(月・祝)
◇実施協力:CYDECO(ベトナム)
◇参加者:14 名(大学生男子 1 名・女子 1 名/高校生男子 2 名・女子 10 名)
◇同行スタッフ:3 名(内1名:学生スタッフ(LEP　登録者)(東京国際大学 2 年))
◇参加費:169，800円(渡航費・宿泊費・研修費等)
◇参加学生所属校:
　(大学)東京経済大学・明治大学
　(高校)都立昭和(東京)・鎌倉(神奈川)・和光国際(埼玉)・攻玉社・都立永山(東京)・伝習館(福岡)・春日部女子(埼玉)・中央大学杉並

◆事前研修会を 7/13(土)に開催し、学生たちは 3 組のグループに分かれて、3つのミッションの準備に取り組んだ。
①友達作り(ホームステイ)
②現地小学生への授業(日本を伝える)
③現地オリジナル旅行企画(現地 PR)

そしていよいよ 8/1 から 8 日間の日程で、ベトナム・ハノイで現地研修を実施。
到着時は台風の影響もあったが、グループごとに、3つの課題に取り組み、週末は 2 人ずつのホームステイを体験。

5 日目は、ハノイ市内の小学校で、
日本のことを伝える授業に、それぞれグループに
分かれて工夫を凝らして臨んだ。
6 日目は、ハノイ旧市街の観光スポットを探索し、
オリジナルの旅行企画を制作。
7 日目は JICA 事務所を訪問して国際協力を学び、
帰国を前にして、研修期間中、一緒に研修に参加して
くれた日本語を学ぶ現地学生たちや、ホストファミリー
を招いてサンクスディナーが行なわれた。

帰国後の 9/16（日）に事後研修会が行われ、
協会役員や教師、保護者の方々を前に、
それぞれのグループごとに課題の発表を行った。
終了後、全員に修了証が授与された。

（ⅱ）GET2019夏（インドネシアコース）実施報告

◇実施日：2019 年 8 月 22 日（木）～29 日（木）（8 日間）
事前研修会：2019 年 7 月 13 日（土）、事後研修会：2019 年 9 月 16 日（月・祝）
◇実施協力：KAPPIJA-21（インドネシア・JICA 青年研修生同窓会）
◇参加者：8 名（大学生男子 2 名・女子 1 名/高校生男子 2 名・女子 3 名）
◇同行スタッフ：3 名（内1名：学生スタッフ（LEP 登録者）（拓殖大学 2 年））
◇参加費：189，800円（渡航費・宿泊費・研修費等）
◇参加学生所属校：
（大学）神奈川県立産業技術短期学校・東京経済大学・実践女子大学
（高校）攻玉社（東京）・中央大学杉並（東京）・和光国際（埼玉）

◆事前研修会を 7/13（土）に、2組に分かれてベトナムコースと合同で実施。

そして 8/22（木）から 8 日間の日程で、インドネシア・
ジャカルタ、ボゴールでの現地研修を実施。
ベトナムコースと同様、グループごとに3つの課題に
取り組み、2 日目、大塚製薬（株）現地法人工場を
見学。週末は 2 人ずつのホームステイを体験。

5 日目、ボゴール市内の小学校で、日本を伝える
授業を行った。
6 日目、ボゴール市内の観光スポットを探索し、
オリジナルの旅行企画を制作。
7 日目、JICA 事務所を訪問して国際協力を学び、
帰国前夜、研修期間中、学生たちと一緒に研修を
サポートしてくれた日本語を学ぶ現地学生たちや、
ホストファミリーを招いてサンクスディナーが行なわ
れた。

帰国後の 9/16(日)に、ベトナムコースと合同で事後研修会が行われ、協会役員や教師、保護者の方々を前に、それぞれのグループごとに課題の発表を行い、終了後、全員に修了証が授与された。

【２】海外研修（GET）参加学生向け年間リーダー育成プログラム

①「Leaders Education Program (LEP)」の実施

◆LEP(レップ)は、GET から始まるステップアップ研修で、今年度からスタートした。GET に参加した学生が、社会人基礎力やグローバル力といったこれからの学校生活や社会人生活で必要なスキルを、さらに身に付けるための通年プログラム。「GET に参加して終わり」ではなく、GET に参加したことで「より国際志向や学習意欲が高まった」学生へ、国際交流や研修などのさらなる機会を提供することが目的。

＜LEP 参加実績＞

研修プログラム		期日	参加者
1	GET2019 夏 (ベトナムコース)	・7/13(土) ・8/1(木) ～8/8(木) ・9/16(月・祝)	大学生 1 名 事務局スタッフとして同行
2	GET2019 夏 (インドネシアコース)	・7/13(土) ・8/22(木) ～8/29(木) ・9/16(月・祝)	大学生 1 名 事務局スタッフとして同行
3	さくらサイエンスプラン (インドネシア・高校生)	10/26(土)	大学生 5 名、高校生 1 名 研修に参加・交流(都内)
		10/27(日)	大学生 5 名、高校生 1 名 研修に参加・交流(横浜)
		10/30(水)	大学生 4 名、高校生 2 名 修了式・送別会に参加・交流
4	異業種交流研修会	1/20(月)	大学生 1 名、高校生 2 名 (友人他 2 名) 研修会・交流会に参加
5	若者力大賞表彰式	2/18(火)	大学生 1 名、高校生 4 名 (友人他 1 名) 協力スタッフとして参加
			高校生 1 名 (友人他 2 名) 表彰式に参加

＜さくらサイエンスプラン＞
インドネシア高校生との交流
（左）10/27（ラーメン博物館）
（右）10/30（修了式記念写真）

【３】企業人向け国内研修

①「異業種交流研修会」の実施

◆法人会員や一般企業の中堅幹部クラスを対象として毎年開催している「異業種交流研修会」。今年度は 6 月と 1 月の 2 回開催。

（ｉ）第 31 回開催 ―――――――――――――――――――――――――― **(2019.6.3)**

通算第 31 回目となる異業種交流研修会は、会場を JXTG ホールディングス本社の会議室をお借りして、講師には、株式会社全日警専務取締役・山﨑裕人様をお迎えして開催。（参加者：48 名）
テーマは、**「国際社会における日本の役割～36 年余の役人経験から」**。
警察官僚として 40 歳（1992 年）の時に、ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ PKO 派遣文民警察隊長として国連の平和維持活動に参加。そのミッションの最中に隊員の一人が武装集団の襲撃により命を落とすという衝撃の体験をされるなど、自らの体験をもとに国際平和について熱く講演。

（ⅱ）第 32 回開催 ――――――――――――――――――――――――――――――(2020. 1. 20)

第 32 回目の異業種交流研修会は、公益財団法人フォーリン・プレスセンター理事長・赤阪清隆様を講師にお迎えし、日本青年館ホテルで開催。（参加者：42 名）**「これからの世界と日本の若者～不確実な時代をどう生きるか」**と題し、数々の国際機関で活躍された外交官の目から見たいまの日本、その中で若い世代の意識・意欲、期待することなどについて講演。
今回は海外研修「GET」参加学生にも参加を呼びかけ、講演後も活発な質問を問いかけていた。

②「アジアの会（大阪）」の実施

◆2004 年から続けているアジアをテーマにした異業種交流会「アジアの会」（大阪）。今年度も下記のとおり定例開催（会場：ハービス大阪）し、通算で 67 回を数えた。

（ⅰ）第 64 回開催 （2019. 5. 23）

講師は、当協会理事でアジアの会事務局長の笛吹明男氏による、**「中国人とは？」**と題して講演。

（ⅱ）第 65 回開催 （2019. 8. 22）

講師には、美容院を経営される稲葉香氏をお迎えし、テーマは、**『「119 年前のエカイの足跡を辿って歩く旅」～リウマチの私がヒマラヤ、チベットで出逢ったもの』**。

（ⅲ）第 66 回開催 （2019. 11. 21）

講師に文化ジャーナリスト・白鳥正夫氏を迎えて、ご自身が訪問された韓国釜山、香港・マカオ、インド、マレーシア、中国武陵源などを画像で紹介し、アジア各地の近代化の印象を講演。

（Ⅳ）第 67 回開催 （2020. 2. 20）

講師には、藤田悟氏（龍谷大教授）をお迎えし、**「ASEAN から見た日本、中国、東アジア」**と題して講演。新型ウィルスの影響で参加者も限られたが、予定通りご出講をいただいた藤田様に感謝。

Ⅱ．国際交流事業

【１】アジアからの来日研修の受け入れ ……

①「さくらサイエンスプラン（日本・アジア青少年サイエンス交流事業）」

◆「さくらサイエンスプラン」は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が、2014 年から行っている研修支援プログラムで、アジアの青少年が日本の科学技術を学び、さらに日本の同世代との交流を深めあう目的で行う来日研修に対して、その研修費用の提供を行っています。
今年度も、同プランを活用して2か国からの来日研修の受け入れを実施いたしました。

（ｉ）「インドネシア・高校生　来日研修」実施――――――――（2019. 10. 25-31）

インドネシアから 15 名の研修生（高校生13名・大学生2名）と引率者 2 名を受け入れて研修を実施。
送り出し機関は、当協会と長年の交流を持つ AJAFA-21（JICA 青年研修帰国生同窓会組織）の、インドネシアの機関である「KAPPIJA-21」で、インドネシア国内の 9 校から研修生を招へいした。

日本科学未来館、TEPIA 先端技術館、日本製鉄鹿島製鉄所、ソーラーパネル施設などを見学。プログラミングや最新の製鉄技術を学び、その傍ら、東京経済大学を訪問して、学生たちとの交流を深めた。

（ⅱ）「中国・教師団　来日研修」実施 ―――――――――― (2019.11.25-29)

中国から 15 名の研修生（高校教師 13 名、引率者 2 名）の受け入れを行った。
送り出し機関「中日青年交流中心」は当協会と長年の交流があり、今回の来日を通して相互の交流も活性化した。

今回の研修生は高校の教師ということもあり、学生向け研修とは違ったプログラムを取り入れて実施した。日本科学未来館や鹿島製鉄所の見学のほかに、日鉄エンジニアリングを訪問し、同社の取り組む環境対策に関する高校生体験プログラムの講義を受け、また東京経済大学を訪問して、日本での留学生受け入れ体制などについての説明を受け、それぞれ教師の立場から理解を深めた。

【２】ASEAN との国際交流ネットワーク ……

①「AJAFA-21 との交流活動」（RLF・ECM・TVC への参加）

◆1984 年にスタートした JICA 青年研修で、日本で研修を受けた ASEAN（10 か国）からの研修生は、これまでに2万人を超し、帰国後、彼らはそれぞれの国で同窓会を組織してお互いの交流と、次に続く若者たちの育成に取り組んでいる。
当協会は、その横断的な連携組織「AJAFA-21」（ASEAN-Japan Friendship Association for the 21st Century）の一員として、毎年交流を続け、ASEAN 諸国とのネットワークづくりに今年も取り組んだ。しかし、2020 年春の新型ウィルスの脅威は、ASEAN 諸国にも広がり、各国団体の代表者が一堂に会する ECM（タイ）への参加は見送ることとなった。

（ｉ）「25th　RLF（Regional Leaders Forum）」（インドネシア）――――（2019.10.4-7）

AJAFA-21 が発足して 2 年後の 1990 年、ASEAN 各国の若者たちが集いあう初めてのユース・フォーラム（現在：ＲＬＦ）がシンガポールで開催され、その後毎年、各国持ち回りで開催を続けている。
通算第 25 回目となる今年度はインドネシア・バリ島で、各国から 100 名を超す参加者を集めて実施された。当協会からは安部久美子事務局員が参加。

（ii）「32nd　ECM（Executive Council Meeting）」（タイ）への不参加　（2020.2.21-24）

AJAFA-21 の各国代表者が集まって毎年開催される代表者会議（ECM）は、タイ・バンコクで開催された。しかし日本側（当協会）からは、新型ウィルスの脅威から参加を見送ることとし、Country Report を送って、活動報告に替えることとした。

（iii）「テレビ会議（TV　Conference）」の実施

AJAFA-21 は、2009 年から参加各国の JICA 施設を利用し、テレビ中継を通して各国の活動報告や情報交換を行っている。
今年度は下記の 3 回にわたって実施した。

1）第 39 回「テレビ会議」(2019.5.23)（JICA本部＋各国JICA現地事務所）
2）第 40 回「テレビ会議」(2019.9.12)（　　〃　　）
3）第 41 回「テレビ会議」(2019.12.19)（　　〃　　）

Ⅲ. 社会啓発事業

【１】若者が挑戦できる社会づくりのための表彰制度 ……

①「第 11 回若者力大賞　表彰式」　　(2020. 2. 18)

◆今年度で第 11 回目を数える「若者力大賞」。
社会が抱える課題に果敢に取り組む若者たちを表彰し、周りの大人たちが一緒に彼らの活動を支えあう、そんな社会づくりを目指して 2009 年に発足した。
今回も 50 名近い数多くの候補者の推薦が寄せられ、その中から、5 組（6 名）の受賞者を決定。（下記・敬称略）
その栄えある表彰式が、**2020 年 2 月 18 日、東京・六本木の「ハリウッド・プラザ」**で行われた。（参加者：180 名）
しかし、第二部に予定されていた交流会は、新型ウィルスの懸念から開催を中止し、表彰式のみの開催となった。

＜若者力大賞＞	高濱　宏至	（NPO Class for Everyone 代表）	34 歳
＜ユースリーダー賞＞	矢島　伸男	（オシエルズ）	32 歳
	野村真之介	（オシエルズ）	31 歳
＜ユースリーダー支援賞（個人）＞			
	横山　太郎	（医師）	39 歳
＜ユースリーダー支援賞（団体）＞			
	NPO 法人アジア人文文化交流促進協会（代表　楊　淼）		

【２】若者力大賞受賞者と学生や地方とつなぐ ……

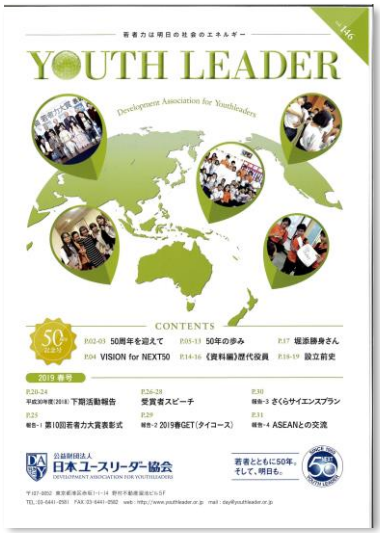
①「若者力大賞受賞者講演会」　（2020. 3. 19 予定　→　中止）

◆若者力大賞受賞者の活動を、もっと多くの人々に知ってもらいたい。そう願って、過去の受賞者による講演会を開催。今年度は、学生への講演機会を設けることを企画した。
しかしながら、ここでも新型ウィルスの脅威から学生への影響を考慮して、開催の中止を決定した。

＜講演会計画＞　→　開催を中止
・実施日：2020.3.19（木）　11:00～12:15
・会場：東京都立永山高校体育館
・講師：秋本可愛さん（第 10 回若者力大賞受賞者）
・受講者：東京都立永山高校 1・2 年生（約 600 名）
・テーマ：「2025 年、介護のリーダーは日本のリーダーになる」

【３】広報活動 ……

＜会報誌(YOUTHLEADER)の発行＞
＜設立 50 周年特集号の発行＞
〇発行：（No.146）2019 年　5 月
〇発行：（No.147）2019 年 11 月



＜協会ホームページでの情報提供＞
〇https://www.youthleader.or.jp
〇https://day-get.com/

Ⅳ. 管理運営

【1】評議員会・理事会・運営幹事会の開催

＜2019 年度　役員会開催記録＞

(1)評議員会
日時:2019 年 5 月 13 日(月)
場所:日本青年館ホテル
議題:2018 年度事業・決算の承認

(2)第 1 回理事会
日時:2019 年 4 月 24 日(水)
場所:協会事務所
議題:2018 年度事業・決算承認/評議員会招集決議

(3)第 2 回理事会
日時:2019 年 5 月 13 日(月)
場所:日本青年館ホテル
議題:50 周年の集いについて

(4)第 3 回理事会
日時:2019 年 11 月 6 日(水)
場所:芝パークホテル
議題:2019 年度上半期中間報告

(5)第 4 回理事会
日時:(予定)2020 年 3 月 19 日(木)
場所:(予定)芝パークホテル
議題:2020 年度事業計画・収支予算承認
↓
★会議は中止。定款第 47 条「決議の省略」を適用し書面審議を実施した。

＜2019 年度　運営幹事会開催記録＞

★運営幹事会委員：井上理事長・伊庭副理事長・吉田常務理事・加藤常務理事
小笠原理事・小室理事・隈丸理事・佐藤（友）理事・池本理事・
谷中監事・金沢理事（事務局長）

（1）第 1 回運営幹事会
日時：2019 年 5 月 22 日（水）
場所：協会事務所（以下同じ）
議題：資金繰り、各委員会運営方針の件

（2）第 2 回運営幹事会
日時：2019 年 6 月 19 日（水）
議題：資金繰り、海外研修 GET 検討、委員会報告の件

（3）第 3 回運営幹事会
日時：2019 年 7 月 24 日（水）
議題：資金繰り、財務組織委員会報告、新入法人会員承認の件

（4）第 4 回運営幹事会
日時：2019 年 9 月 18 日（水）
議題：資金繰り、委員会報告、会長サロン検討

（5）第 5 回運営幹事会
日時：2019 年 10 月 23 日（水）
議題：資金繰り（上半期収支）、委員会報告、さくらサイエンスプラン報告

（6）第 6 回運営幹事会
日時：2019 年 11 月 19 日（火）
議題：資金繰り、委員会報告の件

（7）第 7 回運営幹事会
日時：2019 年 12 月 18 日（水）
議題：資金繰り、委員会報告、内閣府立ち入り検査報告

（8）第 8 回運営幹事会
日時：2020 年 1 月 16 日（木）
議題：資金繰り、委員会報告、役員任期満了通知検討

（9）第 9 回運営幹事会
日時：2020 年 2 月 14 日（金）
議題：資金繰り、2020 春 GET 中止決定、2020 年度計画検討

（10）第 10 回運営幹事会　→　★会議は中止。メールによる会議を実施。（3/31）
日時：（予定）2020 年 3 月 12 日（木）
議題：資金繰り、2020 年度計画原案策定、新役員候補検討

＜2019 年度　月次会計監査記録＞

毎月、谷中税理士(監事)による月次会計監査を実施。

(4 月分)2019.5.22　(5 月分)2019.6.19　(6 月分)2019.7.24　(7 月分)2019.8.22
(8 月分)2019.9.18　(9 月分)2019.10.23　(10 月分)2019.11.19　(11 月分)2019.12.18
(12 月分)2020.1.16　(1 月分)2020.2.14　(2 月分･3 月分→決算へ)

【2】「設立 50 周年　記念の集い」の開催

「設立 50 周年　記念の集い」開催 ―――――――――――――― (2019.5.13)

◆1969 年 7 月。人類が初めて月に降り立ち、世界中が沸き立ったこの年、当協会(設立時:財団法人勤労青少年グループワーク協会)は、まだ若干 29 歳の若さの堀添勝身氏(前理事長)によって設立された。
以来、若い世代の人材育成の活動に取り組み、この間に公益財団法人に移行し、名称も日本ユースリーダー協会とあらため、2019 年、設立 50 周年を迎えた。
50 周年を記念して「記念の集い」を日本青年館ホテルで開催した。

【3】会長サロンの開催

「第 8 回 （2019 年度）会長サロン」開催 ―――――――――――― （2019.11.11）

◆法人会員の代表者の方々と、三村会長、西尾副会長を囲む懇談会：「会長サロン」。
第 8 回目となる今年度は、16 社の代表者の方々にご参加いただき、芝パークホテルにおいて昼食をはさみながら、協会活動へのご理解を深めていただいた。
今回はその中で、ASEAN との交流団体「AJAFA-21」についての説明を行なった。

【4】内閣府・立ち入り検査

◆3 年に一度実施される内閣府による立ち入り検査が、2019.12.9、河野調査官、竹澤調査官のお二人によって協会事務所において実施。
細部にわたり検査いただき、いくつかのご指摘を受けて、改善を図ることとした。

【5】会員動向（法人・個人）

◆2020. 3. 31現在

（1）正会員・・・・・・・・・・・・・ 46社（変動なし）
（2）維持会員・・・・・・・・・・・ 17社（入会1社・退会 1 社）
（3）個人会員・・・・・・・・・・・ 69名（昨年比＋22名）
（4）寄付（10万円超）・・・・ 4名（60 万円）山口育英奨学会
（50 万円）秀島博規氏
（20 万円）程ヶ谷基金
（10 万円）渡辺順彦氏

＜参考＞3ヵ年推移（個人会員）

	2019 年度	2018 年度	2017 年度
個人会員（@5,000） 寄付者（@100,000 超）	69名 4名	47名 4名	55 名 9名

＜法人会員一覧＞ 2020.3.31 現在

・㈱アークエース　・旭化成㈱　・朝日生命保険(相)　・㈱アスム
・㈱アテナ　・アトラ㈱　・イオン㈱　・㈱石井鐵工所
・五十鈴㈱　・エア・ウォーター㈱　・NS ユナイテッド海運㈱
・㈱NTT ドコモ　・㈱江ノ島マリンコーポレーション　・㈱オカムラ
・鹿島建設㈱　・川崎重工業㈱　・㈱キノシタ　・共英製鋼㈱　・協材興業㈱
・(財)勤労青少年躍進会　・山九㈱　・㈱滋慶　・(有)J＆I
・㈱ジェイエック　・JX石油開発㈱　・JXTGホールディングス(株)
・日鉄興和不動産㈱　・日本製鉄㈱　・日鉄エンジニアリング㈱
・日鉄ケミカル＆マテリアル㈱　・日鉄ソリューションズ㈱　・住友商事㈱
・清和綜合建物㈱　・大日本土木㈱　・(社)中部産業連盟
・東京海上ホールディングス㈱　・東京海上日動火災保険㈱　・東京商工会議所
・東銀リース㈱　・トピー工業㈱　・㈱日清製粉グループ本社　・日鉄鋼板㈱
・日鉄ドラム㈱　・日鉄物産㈱　・㈱NIPPO　・㈱ニヤクコーポレーション
・日本エマージェンシーアシスタンス㈱　・日本ケミファ㈱　・㈱日本政策投資銀行
・㈱乃村工藝社　・阪和興業㈱　・東日本電信電話㈱　・㈱フレンド
・㈱マーキュリアインベストメント　・㈱みずほ銀行　・三谷産業㈱
・三井物産㈱　・三井不動産㈱　・三井不動産レジデンシャル㈱
・㈱三菱ケミカルホールディングス㈱　・三菱地所㈱　・(学)メイ・ウシヤマ学園
・㈱メタルワン

事業報告における附属明細書

2019 年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

2020 年 3 月

公益財団法人　日本ユースリーダー協会

東京都港区赤坂１－１－１４　野村不動産溜池ビル
公益財団法人日本ユースリーダー協会
ＴＥＬ：０３－６４４１－０５８１
Email：day@youthleader.or.jp

公益財団法人
日本ユースリーダー協会
DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS